

ケア目標

テーマ：《最期にたたくその場所が穏やかな景色でありますように》
～ご家族のところに幸せ切符を～

《具体的な目標》

(1) 組織力の強化（チーム力の強化）

①業務の合理化・効率化

目標：ケアの細分化により職員の特性を生かした取り組みを行うことで質の向上を図る

②特養・短期入所・通所の一体化の強化

目標：業務の調整役である生活相談員を特養・短期入所・通所のすべてに携わる体制を構築することで施設の一体化の強化につなげる

③チームワークの強化

(2) 職員一人ひとりが考える力を養い、向上に励む人材育成

目標：“限られた人員・環境の中で質のよいケアを提供する”ため、効果的なアプローチの方法を身に付ける

①記録の活用を通して個を見る目を養う

②個を尊重したケアの原則を学ぶ

③中間指導職の目標：リーダー「5つの条件」を学ぶ

《具体的な取り組み》

(1) 施設内研修

目標	全部署が一体となった施設内研修を実施することで知識の習得に加え他職種連携を学ぶ			
内容	回数	テーマ	内容	講師
	第1回	介護保険制度について	「平成27年度介護報酬改正について」	生活相談員 上村友仁
	第2回	防災について	「災害時、限られた人員で何をしなければならぬかを考える」	防災委員長 江澤陽乃介
	第3回	福祉用具	「座位保持の必要性についてⅡ」	(株)松永製作所 中川 正氏 (株)日本サプライ 安西将人氏
	第4回	食事について	「経口摂取について」	栄養士 大屋真理子
	第5回	認知症について	「認知症の人への対応」	在宅主任 加藤正和
実施時間	19時～20時	実施頻度	2ヶ月に1回開催	対象者 全職員

(2) リスクマネジメント会議

目標	全部署が一体となった会議を実施することでリスクマネジメント知識の習得に加え他職種連携を学ぶ		
実施時間	19時～20時	実施頻度	毎月1回開催
会議内容	特養・在宅に分け出来事報告書（ヒヤリハット）状況に即した課題をテーマに取り上げディスカッション形式で課題分析～解決策を検討する		
内容	テーマ		
4月	平成27年度 退所者振り返り		

5月	介護保険制度改正による入所基準改正に伴うケアの変化について
6月	DVD鑑賞 カンブリア宮殿：『星野リゾート：星野佳路社長』
7月	交通事故と企業責任
9月	平成26年度 出来事報告書振り返り（統計）
10月	（特養）身体拘束について
	（在宅）デイのお客様の受診付添について
11月	（特養）DVD鑑賞 カンブリア宮殿：『大網白里市 大里綜合管理』
	（在宅）デイサービス体制について
12月	（特養）骨折事故検証 看取り振り返り
	（在宅）DVD鑑賞 カンブリア宮殿：『大網白里市 大里綜合管理』
1月	（特養）誤嚥事故検証
	（在宅）デイサービスにおける送迎リスクについて
2月	（特養）面会の位置づけについて
	（在宅）感染症対策について
3月	（在宅）チームのあり方について

(3) 部署会議

部署	月	会議内容
A ユニット	4月	（伝達）シフト作成について（希望勤務取得方法）・介護看護休暇について・夕礼について 施設大規模改修について
	6月	（検討）面会記録の記入について
		（検討）勤務調整について（職員の勤務形態変更に伴う調整）・ユニット内の報告経路について・特養⇄短期入所の情報共有の意義について・大規模改修案について
	9月	（検討）新体制（ユニットリーダー変更）に伴う不安点、変更点について
	10月	（検討）ユニット会議開催方法について・業務における人員配置について・ユニット行事について
12月	（伝達）平成28年度事業計画について （検討）復職職員配置に伴う体制について・短期入所者TH様 ケアプラン内容について	
B ユニット	4月	（伝達）H27年度介護報酬改定の概要・シフト作成について（希望勤務取得方法） （検討）ユニット目標について（共有）・排泄委員会より：排泄アセスメント表の記入と今年度の取り組みについて
	5月	（検討）SK様の対応についてカンファレンス実施（ご本人の訴えに対しどのように応えていくか。精神面のフォロー重視）
	6月	（検討）今年度の目標について内容の確認を行う（面会ノートの活用方法・個別目標）
	8月	（検討）ET様の対応についてカンファレンス実施（排泄ケアについて）
	10月	IT様 〃 （水分摂取方法の検討・立位不安定への対策）
		（検討）ET様の対応についてカンファレンス実施（水分摂取方法・排泄ケアについて） MY様 〃 （ビフィズス菌飲用中止後の評価）
	12月	（伝達）給食会議報告（検食の目的・魚の提供方法・禁食の対応）
		（伝達）リーダー会議報告（入所判定会議・H28年度事業計画・Aユニット⇄BCDユニットの連携について・喀痰吸引実施者について）
		（検討）HG様の対応についてカンファレンスを実施（勘違いや物忘れ出現に対するケア）
		HE様 〃 （認知症進行に伴う夜間排泄ケアについて） SK様 〃 （特定者に対する物盗られ妄想訴えに対するケア）

デイサービス	4月	(報告) リーダー会議報告 (希望勤務取得方法・介護看護休暇について) 今年度の目標について (共有) 当日のリーダーについて (当日リーダーは当日のデイ責任者となる) 排泄委員会より: オムツ類の取り扱いについて 給食委員会より: 食事量低下、体重減少している方に対し体重測定を行いマネジメントにつなげる
	6月	(検討) レクの計画表について・外部からのボランティアについて・個別レクについて お客様の情報交換について (気づきを記録に残すことにより理解へつなげる)
	8月	(検討) レク「塗り絵」について (個別に綴り自宅へ持ち帰って頂く等、実施効果について検討)
	12月	(報告) 平成 28 年度事業計画について デイサービス ケア目標について
看護	5月	(検討) 医務目標について (共有) 目標に対する課題及び対策について (終末期の意向確認に伴う流れについて)
	7月	(検討) 研修:「延命治療とは何か!」 ・週末を何処でどう迎えるか。家族の揺れ動く心にどう対応する。 ・延命治療の種類について (IVH・胃ろう) ・結論としてあくまでもご本人、ご家族の意向を尊重すべきではあるが、我々は自分の意思を表現出来ない高齢者や認知症の人々の代弁者であることを忘れず穏やかな終末を送らせてあげられることを目標とする。
	9月	(検討) 胃ろう造設を行ったEK様のケースについてカンファレンス実施 ・ご家族の意向を叶える難しさについてカンファレンスを行う
生活相談員	4月	(検討) 今年度の会議内容の方向性について (事例検討、制度、稼働率対策 等)
	6月	(検討) 時代の変化、介護保険改正等に対応していくにはどうしたらよいか
	9月	(報告) 千葉県集団指導の報告 (検討) 生活相談員のオンコール体制について
	10月	(検討) 研修: 常勤換算法について学ぶ 通所、短期介護計画書の書式について (提供時間帯の記入、急変時の対応について) 在宅のターミナルケアについて (急変時意向確認書作成への検討)
	12月	(報告) 千葉県生活支援コーディネーター研修報告 報告書 加藤正和 (在宅主任)・上村友仁・吉井智貴 (生活相談員)

(4) リーダー会議

月	内 容
4月	① 入所判定について (平成 27 年度介護保険制度改正内容) ② 入所判定会議
5月	改修工事について ・改修工事の目的 (ケアの方向性・職員の働く環境を整える・お客様の住みやすさを整える 等)
6月	① 研修:「あなたに足りない“管理・リーダー力”向上の具体策 (1)」 ② 喫煙時の注意事項について
7月	入所判定会議・平成 27 年度目標に対する評価 (上半期)
10月	① 勤続表彰式 ② 研修:「あなたに足りない“管理・リーダー力”向上の具体策 (2)」
11月	研修:「あなたに足りない“管理・リーダー力”向上の具体策 (3)」
12月	平成 28 年度 事業計画について (法人・ケア目標)
1月	① 平成 28 年度 事業計画について (予算について) ② 入所判定会議
2月	① 平成 28 年度 事業計画について (予算・組織形態について) ② 入所判定会議
3月	平成 28 年度 事業計画について (予算・組織形態・年間計画について)

(5) 委員会活動

テーマ：委員会とは“資質向上のツール”と理解し質の向上・リスク管理につなげる

《排泄委員会》

外房排泄理念	『個別ケア（排泄）を実現することで基本理念である【存在感のある生活】』を提供する		
外房排泄委員会 目標	人員に制限がある中でも、質の良い排泄ケアサービスの提供を目指す		
H27 年度目標及び対策			
部署	現状課題	取組み目標	具体策
通所	ケア改善を実施する対象者の選定が難しい（在宅生活主流の為）	排泄に悩みを持つ利用者様とそれを支えるご家族の心のうちに秘めている悩みをより早く察知し、アドバイザーになることで地域貢献を目指す	送迎時のコミュニケーションで冊子「つながる手」の活用とあて方やアイテムによる解決が出来るようアドバイスを実施する
A ユニット（特養+短期入所）	①オムツの使用枚数のカウント間違いが多く、正確なデータが把握しづらい ③ 便コントロールや尿測など家族のご協力を仰ぐ案件の実施が難しい	記録の重要性と役割を理解し、排泄をツールにチーム連携を強化する	
特養ユニット	① 正しいオムツのあて方から我流になりつつある ② 根拠に基づいたアイテム選定が出来ておらず、介護者よりになりつつある	記録表から潜在している課題を表出化することで、観察力やアセスメント能力の向上を目指す	① 排泄アセスメントを実施し、記録表を活用しながら現状の課題を表出化し、改善プランの作成⇒実施⇒評価⇒修正を排泄ケアカンファレンスで実施する。 ② 排泄アセスメントから夜間おむつからリハビリパンツへ可能な方を選出し、終日パンツモニターを実施する ③施設全体研修を実施し、施設全体で正しいオムツのあて方を目指す。

活動内容

第1回委員会	今年度の課題共有と目標設定（今期改善手法の協議） ・各ユニットの課題と目標、具体策の設定を実施する ・今年度の排泄アセスメントの更新と実施期間の設定 ・夜間おむつからリハビリパンツ対象者の選定とモニター期間の設定
第2回委員会	個別カンファレンス対象者選定 ・各ユニットより「排泄アセスメント提出」及び「対象者の報告」あり 対象者については選定理由と対策について発表あり
第3回委員会	成功事例発表 Aユニット HM様の事例を担当委員より報告 目標：『夜間の漏れを改善したい』 ～排泄改善から認知レベルUPにつながったケース～ ・潜在能力を排泄ケアをきっかけに引き出す ・若年性認知症の方へ関わる時に気をつけなければならないことは、社会性を取り上げないこと ・ご本人の自尊心への配慮から職員との距離ができてしまい、気が付いた時には認知症状が重度になっているケースがある ・個を観ること（個別ケア） ・集団ケアでは排泄ケアはできない（定時トイレ誘導・定時オムツ交換等）

《褥瘡対策委員会》

活動内容	① 褥瘡予防用具の管理（エアマット・無圧マット・クッション 等） ② 褥瘡発症状況について把握及び評価を実施し対策を検討する（月 1 回開催）
------	--

《身体拘束廃止委員会》

活動内容	① 身体拘束（虐待）廃止への自覚を促すことを目標にした研修の実施（年 1 回・全職員対象） ② 身体拘束状況について把握及び評価を実施し対策を検討する（月 1 回開催）
------	---

《感染症対策委員会》

H27 年度目標	介護ケアにおける感染対策について委員会内研修を実施する																											
第 1 回委員会	① 研修：排泄ケアについて ～感染対策における排泄ケアを理解する～ ② 外房感染マニュアル配布 ③ 食中毒予防について																											
第 2 回委員会	① 研修：環境整備について～ノロウィルスの流行に伴う環境整備について理解する～ ② 職員の感染対策について																											
第 3 回委員会	① 今年度の感染状況報告 お客様（延べ人数） <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="3">単位：名</th> </tr> <tr> <th>病名</th> <th>特養</th> <th>在宅</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インフルエンザ</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>胃腸炎</td> <td>7</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>ノロウィルス</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> 職員（延べ人数） <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>職員</th> <th>職員の家族</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インフルエンザ</td> <td>4</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>胃腸炎</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ノロウィルス</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <感染に対する対策について振り返り> ・感染蔓延時、介護職員だけではお客様の対応が難しくなるため、他部署からの応援が必要と感じた。普段から部署間の協力体制の構築を目標とし取り組みを行う。 ・各部署の感染委員が発信者となり状況改善への取り組みを行うことが必要である ・感染者が出た場合のゴミの処理ルートについて再度検討が必要である（ベランダ経由で滑り台から降ろすなど感染源の拡大を防ぐ対応が必要である） ・職員の手洗い、うがい、着替えの徹底と習慣化及び新人職員への徹底方法を再度検討する。 ② 一年間の振り返り ③ 来年度の目標について	単位：名			病名	特養	在宅	インフルエンザ	0	2	胃腸炎	7	0	ノロウィルス	2	0		職員	職員の家族	インフルエンザ	4	8	胃腸炎	5	1	ノロウィルス	0	0
単位：名																												
病名	特養	在宅																										
インフルエンザ	0	2																										
胃腸炎	7	0																										
ノロウィルス	2	0																										
	職員	職員の家族																										
インフルエンザ	4	8																										
胃腸炎	5	1																										
ノロウィルス	0	0																										

《リハビリ委員会》

活動内容	① 福祉用具の管理 ② 塩田病院理学療法士の指導のもと、個別リハビリメニューを設定し取り組みを行う	
第 1 回リハビリ指導	通所	レク内容の提案 ・新聞紙を使ったレクを指導して頂き、実際に行う
	Aユニット	音楽を使用しないリハビリについて ・軽体操であれば“ラジオ体操”“口腔体操”等で十分ではないか
	特養	音楽を使用した軽体操について ・曲の選択（幸せなら手をたたこう・月の砂漠・案山子） 今後曲に合わせて四肢を使った体操を創作する

第 2 回リハビリ指導	通所	前回行ったレクの実践及び評価 ・新聞紙を使ったレクを実践し評価を頂く
	Aユニット	前回指導して頂いた内容に対する取り組みの評価 ・有効的な実施時間の指導 等
	特養	I T様の個別リハビリ指導 ・座位保持時、前傾姿勢になってしまう方の評価について
第 3 回リハビリ指導	通所	新レク内容の提案 ・新聞紙を使った新しいレクの指導
	Aユニット	前回からの評価を報告 ・実施時間を決めレク体操を実施していることを報告 ・アンケート等でご本人、ご家族の意向を確認してみてもどうかと提案あり
	特養	YM様の個別リハビリ指導 ・左側への傾きについて相談し対策の指導を受ける I T様の個別リハビリ指導 ・座位保持時の前傾姿勢についてご家族同席のもと原因と対策について検討する

《安全委員会》

H27 年度目標	在宅版「看取りマニュアル」を完成させる 目的：当施設における対応可能な範囲を明確にし、お客様・ご家族・介護支援専門員に提示できるものにしていく 在宅サービスについては主たる介護者が家族だということと他事業所と連携の上でケアを提供することから、特養におけるチームケアとは異なる。よって、施設外の関係者に当施設における対応範囲を明確にした上で調整をかけることが望ましい。	
活動内容	① 看取りマニュアルの作成	
	② 救急法講習会の開催	
	講習会種類	普通救命講習 I 救急法講習
	講習時間	3 時間 1 時間
	講習内容	・心肺蘇生法（アンビュー使用） ・A E D（自動対外式除細動器） ・止血法 ・心肺蘇生法（アンビュー使用） ・A E D（自動対外式除細動器）
講習会開催実績	5/19 参加者 10 名 11/10 " 11 名 7/7 参加者 7 名 9/28 " 8 名 1/5 " 11 名 参加者合計 47 名（全職員参加）	
③ 喀痰吸引に関する研修の実施		
目標	介護職員が必要な基礎知識を習得し、医師の指示の下に看護職員と介護職員が連携し、口腔内のたんの吸引及び胃ろうによる経管栄養を実施することができる	
研修内容	口腔内の喀痰吸引 胃ろうによる経管栄養	
研修実績	第 1 回（27/6/1～6/30） 介護職員 26 名実施 第 2 回（27/10/1～10/31） 介護職員 17 名実施 第 3 回（28/2/1～2/29） 介護職員 27 名実施	

《防災委員会》

活動内容	① 避難訓練の実施（実施義務 年3回）												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施日</th> <th>訓練内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>5/27</td> <td>火災想定</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>9/25</td> <td>夜間火災想定</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>11/27</td> <td>地震・火災想定</td> </tr> </tbody> </table>		実施日	訓練内容	第1回	5/27	火災想定	第2回	9/25	夜間火災想定	第3回	11/27	地震・火災想定
		実施日	訓練内容										
	第1回	5/27	火災想定										
	第2回	9/25	夜間火災想定										
第3回	11/27	地震・火災想定											
① エレベーター救出訓練の実施													
・エレベーター内に閉じ込められたことを想定し実際にエレベーター内部、外部からの救出方法を実践する（年2回実施）													
② 防災設備点検の実施													
・随時、委員が担当箇所を点検し委員長へ報告をする													

《給食委員会》

外房食事理念	「最期まで自分の力で口から食べることを目標とし、人として生きていく上で大事な食事を通し、人としての喜びを感じていただけるような支援をする」
H27 年度目標	<p>① 個々のニーズに対応できるように選択できる食事の提供 行事食では委託会社協力のもとに寿司キャラバンやおやつバイキングを実施していく。体重や食事摂取量が減少傾向の方に食事形態の変更や補助食品の検討を行い、重症化を予防する</p> <p>② 給食会議を利用した栄養講座の開催 「健康づくり栄養講座」の開催 糖尿病、心臓疾患、腎臓病、COPD、パーキンソン病等疾患のあるお客様や職員に対し、栄養講座を開催する</p>
活動内容	
4月	① 4月行事食の反省 ②5・6月の行事食について立案 ③5月研修立案（糖尿病の食事について要望提出）④水分補給用ゼリーについての理解
5月	① 4・5月行事食の反省 ②6月行事食の立案 ③研修：糖尿病の食事について（1）
6月	① 6・7月行事食の立案 ②研修：糖尿病の食事について（2）※病気を知って予防が出来、糖尿病に関して資料を参考に発信できる委員になりましょう
8月	① 入所者の栄養状態を把握する ②9月行事食の立案
9月	① 入所者の栄養状態を把握する ②9・10・11月の行事食の立案 ③通所・短期入所・Aユニットの食事形態の合わせ方について検討
10月	① 11月行事食の立案 ②検食の目的について理解する ③魚の提供方法を通し「食の質、安全性、自立支援」の考えを明確する ④禁食の対応について理解する
11月	① 11月行事食の反省 ②12・1月行事食の立案 ③前回実施した「魚の提供方法を通し食の質、安全性、自立支援の考え方について各部署より意見を発表しカンファレンスを行う
12月	① 12・1月行事食の立案 ②嗜好品「お茶」について 現在使用している銘柄が廃盤になる予定のため、お試し品の試飲評価を委員より報告し協議する
1月	<p>① 12月行事食の反省</p> <p>② 2月行事食の立案</p> <p>③ 給食会議の伝達、周知徹底方法について ※伝達後、会議の内容に意見がある場合、その意見をすくい上げるシステムを作ることを目標とする。まずは伝達、周知徹底を行い、各部署の方法を随時評価し改善していく。</p>
2月	① 2月行事食の反省 ②3月行事食の立案 ③年間行事食の予定 ④給食会議の伝達、周知徹底方法について
3月	① 3月行事食の反省 ②4月行事食の立案 ③嗜好品「お茶」の結果について報告